

令和8年度 府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・日々の小テストやプリント、1学期の定期考査の正答率から分析すると、知識・技能の正答率が低い。 読解問題においては、記述問題の正答率が低く、問題に対して適切に解答できていないケースが見られる。	・漢字や語彙、文章の型など、繰り返し学習させて身に付けさせる。 ・グループ活動の時間を設け、他者と考えを交流することで、自身の考えを広げたり深めたりし、どのように表現するかを他者から学ぶ機会を作る。【対話・表現】		
数学	・基礎的な計算、主に小学校の算数から苦手な生徒が多く見られる。学習内容が理解できても単純計算で置き、学習意欲の低下につながるような工夫が求められる。	・支援員と協力しながら、習熟度に応じた支援を行う。また、定期的に小テストを実施し、基礎的な計算能力の定着を図る。【表現・決定】 ・協働的・探究的な授業を実施し、数学の学習内容を日常生活と関連付け、思考力を育てる。【対話・発見・表現・決定】		
理科	・学習内容を既習内容や身のまわりの自然事象と結び付けることが課題である。 ・生徒が考えをまとめ、発言したり、文章で表現したりすることに課題がある。また、物事を科学的に思考、判断し、論理的に表現する力を身に付けることが課題である。	・学習内容を日常生活や既習事項とつながる授業展開を図る。【発見・表現】 ・実験や観察のねらいを意識させ、結果の考察について自分でまとめたり、話し合いを通じて考えをまとめたりする活動を増やす。【対話・表現】		
社会	・授業中には多くの発言があるが、定期考査の結果を見ると、学習内容の理解度に個人差が大きい。 ・自分の考えを自分の言葉でまとめたり、文章にしてまとめたりすることが難しい生徒が多い。	・復習を促す課題を複数回設定したり、小テストを実施したりするなど、基礎的な知識を定着できるような取り組みを行う。 ・図表の読み取りなど自身で行わせ、自分の言葉でまとめたり、話し合いを通じて考えをまとめたりする活動を増やす。【対話・発見・表現】		
音楽	・授業に主体的に取り組み、音楽活動を通して深い思考・表現ができるようになることが課題である。	・本時の課題のより分かりやすい提示、テンポの良い授業展開や目標となる映像・音源の厳選、基礎的な表現のための練習の充実を図る。【発見・表現】 ・安心して対話できるルールや人間関係の構築、思考を深める発問の工夫、主体的な活動への助言や成果を評価する。【対話】		
美術	・学んだ美の要素や技法の美しさを感じ取り、表現の工夫を自分なりに試行錯誤したり、追及したりしながら描くことが課題である。 ・発想・構想時に自分の思いや考えを言葉にまとめられない生徒または、図や絵に表すのが困難な生徒が見られる。	・授業の導入で短時間、参考になる生徒の作品を紹介する。また、生徒同士の話し合いにより課題に向けた考えを広げる。【対話・表現】 ・美術の記録やプリントにどの程度アイデアスケッチをまとめるか、どのように言葉にするか丁寧に参考の資料や動画を提示し伝える。【発見・決定・表現】		
技術	・CADなどのICT機器の操作技能は身に付いているが、作図や授業記録など手を使った基礎的な表現技能の定着が不十分である。	・CADによる設計と手作業による木製品の製作活動及び継続的な作業記録を関連付け、基礎的な技能と表現力を育成する。【発見・表現・決定】		
家庭	・一斉指導では、学習内容や実習手順の理解・定着に差が生じやすく、個別の支援を必要とする生徒が多い。そのため、実習場面においても、安全面や技能面で生徒が自信をもって主体的に活動することが難しい。	・一斉指導を「短く・視覚的に」提示し、手順や写真などで示し、「聞いて理解する」だけに頼らない授業にする。【発見】 ・生徒同士で確認し合う場面を設定し、生徒同士で教え合うなど、自分で学習が進められる授業づくりを確立する【対話】		
保健体育	・自らの課題を学び合いの中で発見し、実践と対話を繰り返しながら改善に向かうことが課題である。・自分の動きを、自分自身で把握することが課題である。	・見付けた課題を仲間同士で共有しあう時間を授業内（水泳・マット運動等個人競技）で意識的に作る。【対話】 ・動きのポイントを示した動画や学習カード、動画撮影等の教材の充実を図る。【発見】		
外国語	・小学校での既習内容の定着の差や、それによる英語に対する関心・意欲の差が大きい。 ・ライティングにおいて、正確に単語や文を書くことに課題がある生徒もいる。	・常活動やワークシートを用いて、既習内容を復習する機会を多く設けていく。【対話・表現】 ・授業の中でスピーキング活動をした後、ライティング活動につなげていくことで、自然と書くことに対する抵抗感を減らしつつ、機会をより多く設けていく。【発見・決定・表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和8年度 府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	日々の小テストやプリント、1学期の定期考査の正答率から分析すると、基礎的な知識・技能が十分に身に付いていない。また、根拠を明確にしながら論理を整えて考えたり表現したりすることに課題がある。	- 定期的な小テストなどで習熟度を確認し、指導の工夫・改善を行う。 - スモールステップでの授業展開や、生徒同士での協働学習を行い、自分の考えを表出する機会を増やす。【対話・表現】		
数学	- 基礎計算力は未だ課題である。また、学習内容が理解できている生徒も式の変形の際に単純な計算間違いが見られる。 - 計算ができる生徒も、文章に対して苦手意識は強い。	- 教え合い学習から、協働的な学習への抵抗をなくし、わからないこと、質問しやすい雰囲気をつくり、適時習熟度に応じた支援を行う。 - 小テストを行い、基礎計算の習熟度を測る。 - 思考解決型学習を適時行い、思考力を育てる。		
理科	授業アンケートや定期考査の達成率から、授業の内容を生徒自らの力で考え、まとめ、発表（記録）させることが課題となる。	- 授業の終わりに、本時で学んだこと、分かったことなどを振り返る時間を設ける。 - 実験の前後で、生徒間で話し合う時間をさらに設け、自分たちで実験の考察をすすめ、話した内容をICT機器を使って共有することで、思考・判断・表現の力を育成していく。		
社会	- 授業への取組は意欲的だが、重要語句の定着を図ることが課題である。 - 定期考査の結果を見ると、学習内容の理解度は個人差が大きい。 - 文章で表現する能力に差があり、問われたことに対して正しく・簡潔に表現することができない生徒がいる。	- 生徒一人一人の考えをグループワーク等で共有する時間を増やす。【対話・表現】 - ICT機器を活用して、画像や動画を見せ、イメージをもたせることで「分かる授業」を展開していく。【発見】 - 生徒同士の教え合いやペアワークなど主体的な活動を増やし、音声や文章で自分の考えを表現する場を増やす。【対話・表現】		
音楽	全員が思いを伝え合える関係を構築し、音楽活動を通して、より豊かで深い思考・表現ができるようになることが課題である。	- 本時の課題の明確な提示、目標となる映像・音源の選定、豊かな表現のための練習の充実を図る。【発見・表現】 - 安心して対話できるルールや人間関係の構築、思考を深める発問の工夫、自分の考えを伝える機会を充実させる。【対話】		
美術	- 作品全体としての美しさや面白さに気付き、より高度な技能に挑戦し、作品を制作することが課題である。 - 授業で学習する用語を使い、その用語が示す技法を活用することが課題である。	- 授業の導入で短時間、参考になる生徒の作品を紹介する。また、生徒同士の話し合いにより、お互いの良さや工夫に気付き、自分にはない表現や工夫を広げる。【対話・表現】 - 美術の記録に美術の用語を活用し記入させる。参考の資料や動画などを提示する。【発見・決定・表現】		
技術	栽培記録の作成などICT機器の活用はできているが、領域学習を通して得た知識や考えをまとめる力が十分に育っていない。	領域のまとめとして、発表資料やレポートの作成を取り入れ、学習した内容を整理・分析し、自分の考えとして表現する機会を充実させる。【発見・表現】		
家庭	実習の際、説明書や手順書を自分で理解し、作業に取り組むことに課題がある生徒が多い。	- 制作物の途中経過の見本をそれぞれ提示し、作業工程の見える化を図っていく。【発見】 - 作業が得意な生徒に先生役を担わせるなど、教え合いの場面を設け、生徒の自己有用感を高めていく。【対話・表現】		
保健体育	- 自らの課題や仲間の課題を学びの中で発見し、対話しながら改善に向かうこと。 - 自分の動きを、自分自身で正確に把握すること。	- 見付けた課題を仲間同士で共有しあう時間を授業内（水泳・陸上競技など個人競技など）で意識的に作る。【対話】 - 動きのポイントを示した動画や学習カード、動画撮影の充実を図る。【発見】		
外国語	- 昨年度までの既習事項が定着していない生徒が2割程度いる。 - ライティングにおいて、正確に単語や文を書くことに苦手意識がある生徒が見受けられる。	- 帯活動やワークシートを用いて、既習内容を復習する機会を多く設けていく【対話・表現】 - 授業で話す活動をした後、書く活動につなげていくことで、自然と書くことに対する抵抗感をなくしつつ、機会をより多く設けていく。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和8年度 府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	- 読解問題に関しては、できている生徒がいる一方で自分の考えを適切な文章で表現することを苦手としている生徒が多い。 - 文学作品や評論の読みに関しては、正解を求める傾向が強い。他者と読みの交換をして考えを広めようとする意識を高めることが課題。	- 原稿用紙を使用した推敲の方法や 200 字作文の構成を確認し、演習問題に取り組ませる。【表現】 - 作文をはじめその他の授業でも、ペアまたはグループ活動の時間を設け、自分の考えを広げたり深めたりし、また同様に表現すれば伝わるのか、他者から学ぶ機会を作る。【発見・対話・表現】		
数学	- 単純な計算の定着度は高いが、計算のスピードに課題がある生徒が多い。 - 何故そうなるかという言語化や理解が十分でなく、応用的な課題に対して、既習事項との関連を見いだして考えることに課題がある生徒が多い。	- 計算演習で時間設定をするなど、時間を意識しながら問題に取り組む場面を設定する。 - 授業での発問（問い返し）やプリントでの記述など、自分の考えやそう考えた理由を答える場面を多く設定する。		
理科	- 既習事項と新しい学習内容を関連付けことが苦手な生徒が多く、既習事項をしっかりと定着させる必要がある。 - 実験の作業は多くの生徒が積極的に参加しているが、実験結果を正しく文章で表現することに課題がある。	- 実験の振り返り以外にも、実験前に原理の説明を加えたり、探究活動の時間を充実させたりする。【決定・表現】 - 学習内容を既習事項や身近な自然現象と結び付けさせることで、新たな学習内容へ関連付けようとする意識を高めさせる。【発見】 - 実験の振り返りの際に、隣の人や各班等での話し合いの時間を設け、他者に考えを伝えたり他者の考えを聞いたりすることで科学的表現の幅をもたせる。【対話】		
社会	- 授業中には多くの発言があるが、定期考査の結果を見ると、学習内容の理解度は個人差が大きい。 - 文章で表現する能力に差があり、問われたことに対して正しく簡潔に表現することに課題がある生徒がいる。	- 生徒一人一人の考えをグループワーク等で共有する時間を増やす。【対話・表現】 - ICT 機器を活用して、画像や動画等を見せ、イメージをもたせることで分かる授業を展開していく。【発見】 - 生徒同士の教え合いやペアワークなど主体的な活動を増やし、音声や文章で自分の考えを表現する場を増やす。【対話・表現】		
音楽	- 音楽のよさや美しさを味わわせて、より豊かな音楽表現につなげることが課題。 - ペア活動やパート練習で、全員が思いを伝え合える関係を構築することが課題。	- 本時の課題の明確な提示、目標となる映像・音源の厳選、より豊かな表現のための練習の充実を図る。【発見・表現】 - 安心して対話できるルールや人間関係の構築、思考を深める発問の工夫、自分の考えを伝える機会を充実させる。【対話】		
美術	- 発想・構想時に自分の思いや考えを言葉にまとめられない生徒または、図や絵に表すのが困難な生徒が見られる。 - 作品鑑賞時のグループでの対話で話が広がらないグループがある。	- 生徒同士の話し合いにより課題に向けた考えを広げる。また、個別指導や毎回の授業での作業内容と進行状況の確認を全体で行う。【対話・表現】 - 話すテーマや方法を明確し、プリントにも他者の意見を色ペンなどで記入させ、対話に対する意識を高めさせる。互いの途中作品への助言をする。【対話・表現】		
技術	限られた時間の中でプログラミング等の課題には集中して取り組むことができるが、学習内容についてより深く考えることに課題がある。	学習内容を精選するとともに、振り返り活動を効率的に取り入れ、課題解決の過程や学びを整理する機会を確保する。		
家庭	与えられた時間の中で、活動に精一杯に取り組むことができるが、話し合い活動を通して考えを深めることに課題がある。	生徒同士が作品を鑑賞する時間を確保し、考えたことをスプレッドシートにまとめ、発表し共有する場を設ける。【対話・表現】		
保健体育	- 自らの課題や仲間の課題を学び合いの中で発見し、実践と対話を繰り返しながら改善に向かうこと。 - 自分の動きを自分自身で正確に把握した上で分析すること。	- 見つけた課題を仲間同士で共有しあう時間を授業内（水泳・マット運動等個人競技）で意識的に作る。【対話】 - 動きのポイントを示した動画や学習カード、動画撮影の充実を図る。【発見】		
外国語	- 昨年度までの既習事項が定着していない生徒がいる。 - ライティングにおいて、正確に単語や文を書くことが困難な生徒が目立つ。	- 常活動やワークシートを用いて、既習内容を復習する機会を多く設けていく【対話・表現】 - 授業で話す活動をした後、書く活動につなげていくことで、自然と書くことに対する抵抗感をなくしつつ、機会をより多く設けていく。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。